



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2020年 7月号 (第48号)

今月のことば

「順境のときは喜び、感謝し、逆境のときは考えよ。」旧約聖書「コヘレトの言葉」7章14節
 (伊藤幾夫選)

2020～2021年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部長 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう！」

アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)「変化をもたらそう」

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次

書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ:キックオフ、Change!2022 (新年度のスタートです。Change!2022運動も2年目に入ります。)

7月例会プログラム

日時:7月4日(土)19:00～20:30

会場:ZoomによるWEB開催

司会:小早川浩彦

- *開会挨拶 深尾香子会長
- *今月のことば 伊藤幾夫
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *クラブ役員就任式
- *クラブ会長所信表明 会長
- *東新部部長公式訪問挨拶 加藤義孝部長
- *チーム報告(農園、多摩社協、シェアマイド*)
- *YMCAニュース・連絡等
- *メンバー近況報告
- *部役員ひとこと
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *閉会挨拶 会長

※WEB開催のため構成を一部省略しています。

7月のHappy Birthday / Happy Anniversary

どちらも該当者なし

【巻頭言】スローガン「他人事、いいえ自分事。」

我がクラブが5年目を迎えた現在、世間は、大混乱の中にあるが、嬉しいことに我々は、着実に進化している！外出自粛の中、地域の課題を見つけたメンバーが、次々と連絡をくれている。本当に会長冥利に尽きる。(皆さん、ありがとうございます。)今年度の主題の《青春》という言葉には、我々の支援対象となるYMCAの青少年だけでなく、沢山の年齢不問の好奇心を応援する気持ちも込めた。活動拠点である多摩ニュータウンの環境を加味している。《高齢化》も、同じく我々の環境を指すが、クラブの小野主事が4月1日付けで異動した、東京YMCA医療福祉専門学校との絆も、併せて意識している。そして巻頭言のタイトルに掲げたスローガンは、これら全てを心に留めて過ごせるようにとの願いである。ボランティア初心者も多く抱える我々は、当初、全世界の人々を優しさの対象とする先輩ワイズの姿に、己の未熟とは言い切れぬ距離感を持った。だが、4年の月日を経て、ささやかではあるが、これまでのご縁を辿って自分たちの想いを届けられるようになってきた。ワイズライフとは、このようにして少しずつ視野が開けてくるものだろう。迎える新年度は、それぞれが探し当てた課題に対して、仲間と共に行動を起こす。こんな今だからこそ、仲間という宝を感じられる1年になるはずだ。(会長:深尾香子)



6月例会	年度末在籍14名 (内広義会員2名) 6月例会は中止	出席内訳	メンバー名		BF		ファンド	
			メーキャップ名	出席率%	切手	使用済み切手、少しでもご持参ください	オークション	スマイル
					0g(前年度累計 894g)		0円	
					ぼんぼこファンド 0円			(前年度累計 8,000円)
					(前年度累計35,046円)			0円
								(前年度累計 38,351円)

6月第2例会(運用会議)報告

6月6日(土) 19:00から第2例会が開催されました。4ヶ月ぶりの第2例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初のweb開催になりました。

深尾会長による開会挨拶と昨年度の振り返りから始まり、昨年度会計実績の報告、今年度の計画、体制の確認、今年度予算案の説明が行われました。また、深尾会長が実行委員長を務める10月の東新部大会の進捗共有や、中止となった3月から6月例会の食事代の扱いも議題となりました。

今年度の計画では、当クラブにおけるボランティア活動の2つの柱である「子ども」と「高齢者」をテーマにした活動を進めようとしています。ただし、新型コロナウイルス禍の最中で地域の各種イベントが中止となっているため、実際の活動については、今後の状況に応じて適宜判断を行う予定です。(小早川記)

《出席者》8名：石田、伊藤、小野、小早川、真藤、田中、深尾、綿引

部長公式訪問

ワイズの新年度開始にあたり、東新部部長の加藤義孝さんが、部内7クラブを公式訪問されます。初回が我がクラブとなります。



加藤部長は、2012年に東京クラブに入会され、昨年度は、会長も務められました。今回「体の許す限り、YMCA、ワイズメンズクラブの働きを支え社会に貢献したい」とのコメントもいただきました。web開催となりますが、部役員の皆様もビジターとして訪問されます。皆で歓迎しましょう。

昨年度を振り返って(前号の続き)

小野 実：昨年度の後半は、7年勤めた東陽町のほんご学院から国立の医療福祉専門学校への人事異動に加えてコロナ禍への対応があり、いつ、なにをしていたかの記憶もあまりないくらいの状態で、それは、今も続いています。異動先の専門学校では、日々変化し続ける社会状況に応じて、新たな授業形態を模索し、実施しています。一方で、通勤時間が短くなったことは、大変ありがたく、状況が落ち着けばクラブ活動への参加も増えてくると思っています。今後ともよろしく願いいたします。

会計からのお願い

クラブ会費の納入をお願いします。新年度から会費月額分の食費分を削り、4,000円を3,000円にします。(食費は都度、各自で負担します)。新型コロナウイルスによる区費・部費の扱い分を整理中のため、今回は、半年分18,000円(通常会員)を下記口座にお振込みください。

ぼんぼこ農園だより

6月18日(木) 15:00から、ジャガイモの収穫作業を行いました。友の会の佐々木さん、井上さん、私、そしてフードバンク府中を主宰する松本さんの4名が参加し、汗だくになりながら大きな籠で3箱収穫しました。5月末頃までは青々と葉っぱが茂り、豊作が期待されましたが、域内の農園全域でジャガイモの害虫被害が発生して収穫間近で失速しました。それでも、本来の8割のサイズに育ったものが半分、残り半分は、5割のサイズでした。

前回の玉ねぎ同様、フードバンク府中に寄贈しました。コロナ禍でアルバイト収入を絶たれ日々の食に窮している地元の学生さんを対象とした食材のパントリーピックアップ用にと、松本さんが農園まで取りに来てくれました。小



さめの芋でも学生さんから喜んでいただけると、そっくり持ち帰ってくれました。満面の笑みでとてもうれしそうでした。現況下、世の中の動きが停滞を余儀なくされていますが、マスクの東京YMCA医療福祉専門学校、西東京コミュニティーセンターへの寄贈、そして玉ねぎ、ジャガイモのフードバンク府中への寄贈など、我がクラブは、細やかながらも地域社会貢献を着実に続けています。(石田記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつもYMCAへのご協力に感謝いたします。

◆YMCA子ども・ユース支援「ポジティブネット募金」

「子どもたちの心身の健康を守る活動」「困難を抱える子どもたちを支える活動」「大学生、専門学校生、留学生、ユースボランティアリーダーを支える活動」これらの目的のために募金のご協力をお願いします。「ポジティブネット」とは、「誰もが公平に夢をかなえるチャンスのある地域社会の創造」を目指すYMCAの願いです。

呼びかけのご協力をお願いいたします。

募金振込先：みずほ銀行 神田支店(108)

(普) 1123669 公益財団法人東京YMCA

※お名前の前に「ポジティブネット」とご記入ください。

これからの予定

・7/11(土) 7月第2例会(web開催)

・7/18(土) 東新部第1回評議会(東陽町センター)

連絡先：〒206-0824 稲城市若葉台4-33-3-203 小早川浩彦 (携帯)090-9347-7906

例会日：本例会 第1火曜日 18:30~20:30 会場：ベルブ永山 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

第2例会(役員会) 第2月曜日 19:00~21:00 会場：ベルブ永山

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ